

実際に活動していくために、
必要な文書例などをそろえました。
どうやって書いていいのか、
わからないときに
使ってください。ウッキー！



- 子どもサポーターが取り
組める活動テーマ
.....P.74
- 活動やイベントを企画す
るときの8つのポイント
(6W2H)P.82
- 活動に役に立つ文書
(フォーマット)集...P.83
- 子どもサポーターに
役立つ研修情報...P.98
- 子どもサポーターに
役立つ書籍.....P.100
- 青少年担当課一覧表
.....P.101

子どもサポーターが取り組める活動テーマ

Iの2.(1)(P.6)で述べているように、活動テーマは何でもいいのです。自分たちで考えたオリジナルのものでも、今まである伝統行事などでもいいのです。そのやり方として、「地域活動」「子どもが主役」「大人を巻き込む」の要素が入っていることが大切であると述べました。

そこでこの活動分野の項では、上記を頭に入れながら、どんな活動がいいのかを考えるためのヒントとして、参考にさせていただきたいと思います。

1. 体験活動

自分たちのオリジナルな企画として実施可能なものを紹介します。

(1) 「2. 地域活動」(P.78) と組み合わせ、実施できる可能性のあるもの

【調理・炊事体験】

- ・うどんづくり
- ・そばうち
- ・そうめん流し
- ・カレーづくり
- ・豚汁づくり
- ・バターづくり
- ・ヨーグルトづくり
- ・バームクーヘンづくり
- ・もちつき
- ・焼き出し

【イベント系】

- ・フリーマーケット
- ・花火大会
- ・収穫祭
- ・すいか割り大会
- ・バーベキュー大会
- ・肝だめし大会
- ・バザー
- ・雪祭り（雪合戦、「かまくら」づくり）

(2) 野外・スポーツ活動

危険を伴うものもあるので、安全管理には十分な体制づくりが必要です。インストラクターなどの指導を仰ぐ必要があります。

【野外活動・アウトドアスポーツ】

- ・ハイキング
- ・登山
- ・キャンプ
- ・デイキャンプ
- ・ウォークラリー
- ・ナイトウォークラリー
- ・フォトラリー
- ・町探検ラリー
- ・シュノーケリング
- ・カヌー
- ・カヤック
- ・乗馬
- ・サイクリング
- ・パラグライダー
- ・ポディーラフティング（※1）
- ・チュービング（※2）
- ・アウトドアクッキング

※1 ライフジャケット・ウエットスーツを着用して、体一つで川を流される体験

※2 ※1にさらにタイヤのチューブを使って、川を流される体験

【スポーツ活動】

試合の後には、バーベキューやゲーム大会など知恵を絞った催しを行い、交流をさらに深めるとよいでしょう。

○ニュースポーツ系

- | | | |
|------------|-------------|---------------|
| ・ ティーボール | ・ ペタンク | ・ インディアカ |
| ・ ドッチビー | ・ パークゴルフ | ・ ターゲットバードゴルフ |
| ・ グラウンドゴルフ | ・ キックベースボール | ・ ユニホック |
| ・ 雪合戦 | ・ カバディ | ・ ソフトバレーボール |
| ・ ディスクゴルフ | ・ スポーツチャンバラ | |

○スポーツ系

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| ・ ドッジボール | ・ ソフトボール | ・ 野球 |
| ・ 卓球 | ・ バドミントン | ・ ボウリング大会 |
| ・ スキー教室 | ・ スケート教室 | |

※ルール等についてはインターネット上に出ているものがほとんどです。またここに掲載されていない種目もたくさんあります。同じ種目名さえ使わなければ、多少ルール等を変えて実施しても問題ありません。

(3) 環境学習・自然体験・科学体験

【環境学習】

「気づき⇒関心⇒理解⇒行動」という一連の流れを体験学習するものであり、行動したあとに再び気づきがあります。そしてまた次のステップへ移るサイクルで環境学習します。自分たちで工夫して出来るものもありますが、指導者がいないと取り組めないものもあります。

- ・ 身近な環境調査（水質、大気、騒音、振動、光害：夜の明るさによるもの）
- ・ 調べ学習（貿易問題、南北問題、食糧の自給率、食品添加物等）
- ・ 地域環境調査
 - ・ 身近な生き物調べ
 - ・ 河川浄化
- ・ 海浜清掃
 - ・ 森林づくり（植林、下草刈り、間伐）
- ・ 里山保全活動
 - ・ 野生生物保護活動
 - ・ ビオトープづくり（※1）
- ・ 石けんづくり（家庭の廃油を利用したりサイクル活動）
- ・ 牛乳パックによる紙すき（ハガキづくり等）
- ・ プロジェクトワイルド体験（※2）
- ・ プロジェクトウェット体験（※2）
- ・ プロジェクトラーニングツリー体験（※2）

※1 ビオトープとは、「本来の生態系が保たれた空間」という意味で、「生態系を考慮して作られた学校の庭、沼地」、「自然の生態系を大切に自分の庭」、「立木が残された畑」などがあげられる。

※ 2 プロジェクトワイルド、プロジェクト WET、プロジェクトラーニングツリーはアメリカで開発された体験学習による環境教育プログラムです。

【自然体験】

ありのままの自然を体験し、自然を理解する活動です。自分たちで工夫して出来るものもありますが、指導者がいないと取り組めないものもあります。

- ・自然観察
- ・星空観察
- ・薪割り
- ・ビーチコーミング(※4)
- ・ネイチャーゲーム
- ・自然素材によるクラフト
- (リースづくり、ドングリクラフト、流木クラフト、バードカービング等)
- ・磯(潮だまり)の観察
- ・森林づくり(※1)
- ・源流探検
- ・いかだづくり
- ・バードウォッチング
- ・ネイチャーフォトラリー(※2)
- ・リポートレッキング(※3)
- ・ボディーラフティング(※5)

※ 1 植林、下草刈り、枝打ち、間伐、除伐など

※ 2 ラリーコース場にある自然素材を設間に取り入れます。知識ではなく、五感で自然を体験できるようなものにします。

※ 3 溪流沿いや沢などでのんびりと楽しむ川歩きのこと、溪流沿いの緩やかな道や河原、沢の中の動植物を観察しながら歩くことができます。

※ 4 浜辺に落ちている漂着物を拾い集める遊びのこと。拾った素材がどこから流されてきたのかを調べたり、それを素材にクラフトをしてもよいでしょう。

※ 5 ライフジャケット・ウエットスーツを着用して、体一つで川を流される体験

【地域によっては可能な体験活動】

調理・炊事体験と組み合わせることができます。

- ・いも掘り
- ・みかん狩り
- ・潮干狩り
- ・地引き網
- ・米づくり(田植え、草刈り、稲刈り、脱穀)

【科学体験活動】

- ・スライムづくり
- ・石けんづくり
- ・牛乳パックからはがきづくり
- ・ロボット工作
- ・星空観察
- ・その他いろいろな科学の実験

※ 詳細について、県立青少年センター科学部(045-263-4470～71)にお問い合わせください。

(4) 文化・芸術活動

文化の伝承や趣味を広げる活動となりますが、これらの活動を通して人間関係づくりや地域活性化にもつながります。またコンテスト、ライブ、発表会などのイベントととして実施することも可能です。

【文化活動】

- ・和太鼓
- ・映画鑑賞会
- ・紙芝居
- ・朗読会
- ・人形浄瑠璃
- ・三味線

【演劇活動】

- ・演劇
- ・ミュージカル
- ・人形劇
- ・演劇ワークショップ

【音楽活動】

- ・和太鼓
- ・ロックコンサート
- ・地元交響楽団による演奏会
- ・中高生のプラスバンドによる合同発表会
- ・ストリートミュージシャン大会

【ダンス】

- ・ヒップポップダンス
- ・社交ダンス
- ・フラダンス
- ・キッズダンス
- ・レクダンス
- ・盆踊り
- ・民族舞踊

【創作体験】

- ・凧づくり
- ・独楽づくり
- ・遊び道具づくり
- ・紙飛行機づくり
- ・竹細工（コップ、お皿、はし、スプーン）
- ・わらじづくり
- ・クリスマスリースづくり
- ・しめ縄づくり
- ・はがきづくり（牛乳パックからはがきをつくる）
- ・料理教室
- ・カヌーづくり
- ・壁面コンクール（※）
- ・ツリーハウスづくり

※ガード下のコンクリート壁を利用して壁画を描いたり、地域の商店街のシャッターの壁画を描くもの。ただし勝手に描くと落書きになってしまい、犯罪とみなされることもあります。行政や商店会と協働で実施する形がよいでしょう。

(5) 伝承遊び・昔遊び

地域によって異なりますが、親の世代以上の人たちが子どもの頃普通にやっていた遊びが忘れられ、遊び文化が失われつつあります。外へ出ても遊び方を知らない、複数の友だちが集まってもテレビゲーム等をしている子どもたちに楽しい遊びを体験させてあげましょう。やがて子どもたちに定着して、自分たちで遊ぶようになるかも知れません。

- ・どろけい
- ・鬼ごっこ（各種）
- ・かくれんぼ

- ・風車づくり
- ・縄跳び（ゴム跳び）
- ・福笑い
- ・竹とんぼづくり
- ・カルタ
- ・折り紙
- ・あやとり
- ・双六

※ NPO 法人東京少年少女センターのホームページの「仲間遊び図鑑」に上記についてルール等が掲載されているものがあります。また他にもたくさん掲載されています。

<http://www.children.ne.jp/play/>

2. 地域活動

(1) 伝統行事

地域に根付いている行事であれば、何でもいいでしょう。ただし地域の大人の壁は厚く、若者が望むことをすぐにやらせてもらえないかも知れません。熱意を持ってまず実績をあげて、認めてもらいましょう。

- ・例大祭
- ・納涼祭・盆踊り大会
- ・みこし祭り（本みこし、子どもみこし）
- ・どんど焼き

(2) 地域行事

その地域の住民が集まって行う行事であり、(1)伝統行事と重なっているものもあります。

- ・運動会
- ・公民館まつり
- ・芋煮会
- ・マラソン大会
- ・文化祭
- ・宝探しウォークラリー
- ・清掃活動
- ・お花見会

(3) 子ども会行事

子ども会行事への協力から始まって、やがて子どもたちと一緒に企画を考えるようになればしめたものです。

- ・新入生歓迎会
- ・クリスマス会
- ・肝だめし
- ・ゲーム大会
- ・卒業生を送る会
- ・子どもキャンプ
- ・夕涼み会

3. ボランティア活動

(1) 地域貢献

町内会（自治会）等では、いろいろなことをやっています。しかしそのような行事には若者の姿が少ないようです。まずはどんな行事があるのかを知り、子どもや若者ができることをやってみましょう。

- ・街路樹の手入れ
- ・道路・公園の清掃
- ・通学路のフラワーポットづくり

- ・子どもの見守り（通学路のパトロール）
- ・地域行事ボランティア
- ・児童館のボランティア（日常的に子どもと遊ぶあるいはイベントの手伝い）
- ・放課後児童クラブのボランティア（日常的に子どもと遊ぶ等）
- ・公民館のボランティア（イベントの手伝い等）
- ・発掘ボランティア（化石、遺跡等の発掘体験）

(2) 福祉

「福祉ボランティア」と大上段に構えないで、身近にできることをやってみましょう。まずは地域にどんな施設があるかを調べ、連絡して可能性を探ってみましょう。

- ・施設訪問（リハビリテーションセンター等で、リハビリトレーニングの介助・協力等、福祉施設を訪問し歌・ゲーム等をする活動）
- ・妊婦・高齢者・身体障害者の疑似体験
- ・老人会との交流会（ゲートボール大会などの協力や参加）

(3) 国際理解

地域に住んでいる外国人がどれくらいいるか知っていますか。まずは身近な外国人と交流することで、海外の生活や文化を理解してみましょう。

- ・子どものころ遊んだゲームや母国語の歌などの交歓
- ・民族料理を作り、食べる体験・ティーサロン（多国籍の人々とお茶会）
- ・交歓ホームステイ（お互いの家庭で生活体験）
- ・国際交流フェスティバルの開催

(4) 異世代交流

子どもや若者は、意外と大人や老人と接していません。特に祖父母と一緒に暮らしていない家庭はその生活と触れる機会が少なくなっています。まずは楽しいことから始めてみましょう。例えば異世代交流イベントとして、幼児から老人までを対象にイベントを開いてみてはどうでしょうか。

- ・ゲートボール大会
- ・パークゴルフ大会
- ・ボウリング大会
- ・囲碁、将棋大会
- ・オセロ大会
- ・編み物教室
- ・地域密着型アートイベント（イベントにボランティアスタッフとして体験参加し、さまざまな年齢・職種の地域の大人や、その道のプロと関わって、いろいろなことをその仕事から学ぶ）

(5) 施設ボランティア

子ども対象の施設で日常的に子どもと遊んだり、イベントの手伝い等を行います。

- ・児童館
- ・放課後児童クラブ
- ・フリースクール
- ・フリースペース
- ・養護施設
- ・日本語教室(外国籍の子どもに日本語をボランティアで教える)

(6) 環境保全活動

環境保全をしなければならないと「気づき」「理解」しても行動しないと意味がありません。そこで地域の身近な自然環境や生活環境で、出来ることから始めましょう。楽しいことも組み合わせると実施するとよいでしょう。

- ・河川の水質調査&河川クリーンアップ作戦
- ・自然観察&クリーンハイキング
- ・ビーチコーミング&海岸クリーンアップ作戦
- ・自然観察&森林ボランティア

4. その他

(1) 遊び場づくり

子どもの遊ぶ環境が失われているところが多く、子どもたちが安心して遊べる遊び場づくりが望まれています。まずは公園や児童館と一緒に遊ぶことから始めましょう。子どもたちと人間関係ができてきたら、大人を巻き込んで子どもの望む遊び場づくりを、子どもと一緒に取り組んでみましょう。

- ・冒険遊び場(プレーパーク)づくり
- ・地域に遊び場をつくる活動
- ・秘密基地づくり
- ・ツリーハウスづくり
- ・公園づくりワークショップ

(2) 食育

子どもの安全や健康が心配されています。まず食えることが基本です。日常的でどんなものを食べているのかを知ることから始め、安全な食べ物とはどんなものか調べ、それを食べる体験をしましょう。

以下の活動と料理教室やアウトドアクッキング体験を組み合わせるとよいでしょう。

- ・農業体験
- ・林業体験
- ・水産業体験
- ・川遊び・釣り体験
- ・食材選び
- ・地域、郷土料理学習

(3) 職業体験

働くことを体験します。まずはどんな職業があるのかを調べ、実際に体験できるものを選び、やってみましょう。

- ・農業体験
- ・林業体験
- ・水産業体験
- ・洋上体験
- ・商売体験
- ・フリーマーケット
- ・子ども祭りの屋台体験
- ・一日職業体験
- ・地場産業体験

選び、やってみましょう。

- ・ 農業体験
- ・ 林業体験
- ・ 水産業体験
- ・ 洋上体験
- ・ 商売体験
- ・ フリーマーケット
- ・ 子ども祭りの屋台体験
- ・ 一日職業体験
- ・ 地場産業体験

(4) 情報発信

自分たちの地域に起きたことやイベントを調べ、情報発信してみましょう。もちろん自分たちが興味を持っているものなら何でもいいでしょう。地域の回覧板や自分たちで立ち上げたホームページ、ブログなどを利用しましょう。

- ・ ミニコミ紙発行
- ・ 地域情報発信
- ・ ケーブルテレビ局のイベント

(5) 地域の人材活用

地域に住む人たちにはいろいろな特技やおもしろい人がたくさんいます。そのような人たちを発掘して、教えてもらったり、一緒にやってみましょう。

- ・ 染め物
- ・ 伝統工芸
- ・ 陶芸
- ・ 人形づくり
- ・ 茶道・華道
- ・ 舞踊
- ・ 囲碁・将棋
- ・ タップダンス
- ・ フラダンス

(6) 地域間交流

ここまでにあげてきたすべての活動で、他地域で同様な活動をしている人たちと一緒にやってみましょう。井の中の蛙にならずに、いろいろな人たちと交流しましょう。

例えば、ドッジボール、ソフトボール、野球大会の後には、バーベキューやゲーム大会などを催し、交流を更に深めましょう。



活動やイベントを企画するときの8つのポイント (6W2H)

| 8つのポイント(6W2H) | | 項目 | 確認すること・注意点 | 検討すること | その他 |
|---------------|-------------------|---------------------------|--|---|---|
| 1 | 何を (WHAT) | 活動内容 | ・メンバー全員からアイデアを募る ・決定を急がない。 | ・予算・人員・会場などを考え、可能性を探る。 | ・最初からできないとあきらめないで、フレキシブルなミーティング(※)を使って、たくさんのアイデアを出す。 |
| | | | ・日程 ・プログラム内容 | ・集合から解散までの流れ ・魅力があるか ・みんなが楽しめるか ・目的に合っているか | ・時間的な無理はないか ※特定のテーマについて、先入観にとらわれず、自由にアイデアを出し合う方法 ・内容がわかる名称 |
| 2 | 誰が (WHO) | イベントの名称 | ・わかりやすい名称 | ・目を引くキャッチコピー | ・実行委員会を開く ・係別打ち合わせを実施 |
| | | | スタッフは | ・誰が参画できるのか ・どんな係分担が必要か | ・係と担当者を決める |
| 3 | いつ (WHEN) | 季節は | ・気候・気温 | | ・梅雨や台風の時期 |
| | | 日時は 集合・解散時間は 参加申込みは | ・他の行事との重複はないか ・冬季は日没時間に注意 ・申込先・方法 | | ・昼食はどうするか ・受付開始日、しめきり日 |
| 4 | どこで (WHERE) | 会場の選択 | ・屋内か屋外か ・集合・解散に便利か ・広さは十分か | ・雨天プログラム ・雨天時の集合場所 ・募集人員と実施内容 | ・雨天対策は綿密に ・距離・経路の確認 |
| | | | ・危険箇所の確認 ・使用料の有無 ・使用手続き | ・集合経路も確認 ・使用料の確認 ・申込み方法 | ・会場の下見は十分に ・直前の下見も必要 ・支払い方法も確認 |
| 5 | 何のために (WHY) | イベントの目的 | ・目的を明確にする | ・なにを伝えたいか ・ゴール(目標)設定 | ・期待される効果を考える |
| 6 | 誰と誰に (WHOM) | 参加者は | ・対象者を誰にするか ・会員制の場合 ・一般公募の場合 | ・募集方法 ・ビジターの取扱い ・募集の範囲 ・定員の扱い | ・イベント内容・目的との関係 ・年齢・地域など ・最初から抽選にしておくのか ・定員オーバーと会場、スタッフの関係 ・費用は必要か |
| | | 広報先は | ・どこへ広報するか | ・広報の手段・方法 | |
| 7 | どのように (HOW) | 準備は | ・事前準備は何かあるか | ・準備係を決める | |
| | | 準備計画は | ・いつ頃から準備するか | ・準備計画を作る | |
| | | 準備物品は | ・団体の備品・所有品 ・購入する物 ・借用する物 | ・準備担当 ・購入品リスト、購入担当 ・借用の手配、借用担当 | ・会計担当との相談 ・借用の交渉 |
| | | 講師・指導者は | ・自分たちだけでできるか | ・講師・指導者の手配 | ・日程・謝礼等の交渉 |
| 8 | いくら (HOW MUCH) | リスクマネジメント | ・組織上の準備 ・物品の準備 ・傷害保険の加入 | ・緊急時の体制づくり ・救急法などの習得 ・救急箱の準備 ・保険金額 | ・連絡体制など ・応急処置の方法 |
| | | 予算は(収入) | ・参加費の収入は ・団体の事業費は ・外部からの助成金は ・おやつ・昼食代は ・記念品・景品など | ・1人あたりの参加費 ・団体からの持ち出しは ・助成金申請 ・要・不要の検討 ・イベントの趣旨によって | ・キャンセルの想定 |
| | | 予算は(支出) | ・会場使用料・講師謝礼など ・傷害保険料 ・物品購入、事務経費など | | ・減免になる場合もある |

活動に役に立つ文書（フォーマット）集

ここからは、実際に活動する際に必要な企画書等の文書の例を掲載しました。

企画書(例) **20XX年度「子どもサポート事業」応募企画書**

20XX年〇〇月××日

「子どもサポート」基金
代表 〇〇〇〇 様

住 所 横浜市西区紅葉ヶ丘9-1

活動グループ名 Team “Child Support”

代表者名 古戸母 佐歩太 印

次のとおり申し込みます。

記

活動テーマ「みんなでフェスティバル」

助成希望金額 100,000 円(消費税含む)

企画書

資料集

1.グループのデータ

| | | | | | | | |
|------------|----------------------|-----------------------|-----|--------------|-----|-----|----|
| (1)グループ名 | Team “Child Support” | | | | | | |
| (2)代表者 氏名 | 古戸母 佐歩太(中学1年生) | | | | | | |
| | TEL | 090-〇〇〇〇-XXXX | FAX | 045-〇〇〇-XXXX | | | |
| | E-mail | s-kodomo@dokomo.ne.jp | | | | | |
| (3)グループの構成 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 大学生 | 社会人 | その他 | 計 |
| | 人数 | 10 | 8 | | 2 | | 20 |

(4)グループの目標

子どもも大人もみんな笑顔であいさつできるようなまちづくり

(5)活動実績

- ・1年前から地域の児童館で週末に子どもと遊ぶ活動を続けている。
- ・児童館の行事にボランティアとして協力している。
- ・隔月で児童館併設の児童遊園を使って、子どもと遊ぶ集いを開催している。

2.活動の目的・ねらい(何のために活動するか)

- ・たくさんの子どもが一緒に遊べる場づくりをしたい。
- ・子どもも大人もみんなが集える場づくりをしたい。
- ・子どもも大人も笑顔があふれるまちにしたい。
- ・子どもが安心して遊べるまちにしたい。
- ・子ども・若者が意見を言えるまちにしたい。
- ・子ども・若者が何を考えているのかを大人に理解してもらいたい。

企画書（例）の続き

| |
|--|
| 3.活動内容(6W2Hを具体的に記す) |
| (1)何を(What) 住民参加のお祭り(屋台、子どもも大人も遊べるアトラクション、フリーマーケット等) |
| (2)誰が(Who) グループのメンバー+地域住民(希望者) |
| (3)いつ(When) 8月26日(日)。夏休みを使って準備をし、前日の土曜日に会場準備をして、日曜日に実施する。 |
| (4)どこで(Where) ○○児童館併設の児童遊園 |
| (5)何のために(Why) <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が集える場づくり ・子どもたちの体験学習 ・児童館の遊具の寄付費用捻出 |
| (6)誰と・誰に(Whom) 地域住民(誰でもok) |
| (7)どのように(How) <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生が中心になって、企画・運営する。 ・児童館及び町内会に会場借用・広報等について協力依頼する。 ・地域住民(子どもから大人まで)のボランティアを募り、グループと協働でイベントを運営する。 ・町内会の回覧板及びポスター掲示(広報掲示板)により、協力者及びフリーマーケット参加者を募集する。 ・フリーマーケットの売上の50%及び屋台等の売上を児童館に寄付して、遊具購入費に充ててもらう。 |
| (8)いくらで(How much) 助成金(10万円)+会費(19,000円)+フリーマーケット参加費(3千円×10)+売上(3万円)=179,000円 |
| 4.活動スケジュール <ul style="list-style-type: none"> 3月・・・児童館との打ち合わせ 4月・・・企画会議 5月・・・詳細内容決定、町内会との打ち合わせ 6月・・・役割分担決定、協力者募集 7月・・・広報(イベント案内、フリーマーケット参加者募集) 8月前半・・・準備(必要物品製作・調達、フリーマーケット調整会議) 8月後半・・・8月26日(日)実施 |
| 5.活動費(具体的な使い途) <ul style="list-style-type: none"> ・物品レンタル費・・・95,000円 ・消耗品費・・・10,000円 ・食品仕入れ費・・・30,000円 ・ゴミ処理費・・・24,000円(できるだけゴミが出ないように工夫をする) ・物品運搬費・・・20,000円 |
| 6.期待される成果(どんな効果があるのか) <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が集える場を提供できる。 ・子どもと大人の協働作業ができ、お互いが理解しあい人間関係が生まれる。 ・子どもが自分たちで企画・運営することで、イベントの体験学習ができ自信につながる。 ・児童館の運営に協力することができる。 |

開催要領

タイトル「みんなでフェスティバル」

| | |
|--------------------|--|
| 1.目的・ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が集える場づくり ・子どもたちの体験学習 ・児童館の遊具の寄付費用捻出 |
| 2.主 催 | Team “Child Support” |
| 3.期 日 | 2007年8月26日(日) |
| 4.会 場 | 〇〇児童館併設の児童遊園 |
| 5.対 象 | 地域住民ならどなたでも |
| 6.定 員 | 特になし |
| 7.参 加 費 | 一般参加者は特になし。フリーマーケットの出店者は3,000円。 |
| 8.広 報 手 段 | 町内会の回覧板及びポスター掲示(広報掲示板)により、協力者及びフリーマーケット参加者を募集する。 |
| 9.フリーマーケット 出店申込 | TEL 090-〇〇〇〇-XXXX, FAX 045-〇〇〇-XXXX E-mail s-kodomo@dokomo.ne.jp |
| 10.問い合わせ | TEL 090-〇〇〇〇-XXXX |
| 11.内 容 | 住民参加のお祭り 屋台、子どもも大人も遊べるアトラクション、フリーマーケット |



夏休み最後の日曜日、楽しいことありますよ～。

子どもから大人まで、誰でも参加OK。

みんなで来て、楽しんでっつてねえ～！！！！！！

フリーマーケット

家で眠っていたお宝・最新アイテム発見！売りに出てるよ！安いよ、安いよ！



屋台(模擬店)

焼きそば、焼き鳥、かき氷。ビールもあるよ(もちろん大人だけ)

フリーマーケット



アトラクション

定番の金魚すくい、ヨーヨーすくい。あとは秘密、子どもたちが考えたオリジナルなアトラクション、そして最後はビンゴ大会ーだあ！！



問い合わせ先：090××××××××

Team "Child Support" 代表：古戸母 佐歩太まで

グループPR用紙

グループの紹介用に利用することができます。

| | | | | | | | |
|--|----------------------|-----------------------|-----|--------------|-----|-----|----|
| 1.グループのデータ | | | | | | | |
| (1)グループ名 | Team "Child Support" | | | | | | |
| (2)代表者 氏名 | 古戸 母 佐歩太(中学1年生) | | | | | | |
| | TEL | 090-0000-XXXX | FAX | 045-242-XXXX | | | |
| | E-mail | s-kodomo@dokomo.ne.jp | | | | | |
| (3)グループの構成 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 大学生 | 社会人 | その他 | 計 |
| | 人数 | 10 | 8 | | 2 | | 20 |
| 2.グループの目標 | | | | | | | |
| 子ども大人もみんな笑顔であいさつできるようなまちづくり | | | | | | | |
| 3.活動の目的・ねらい(何のために活動するか) | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの子どもと一緒に遊べる場づくりをしたい。 ・子ども大人もみんなが集える場づくりをしたい。 ・子ども大人も笑顔があふれるまちにしたい。 ・子どもが安心して遊べるまちにしたい。 ・子ども・若者が意見を言えるまちにしたい。 ・子ども・若者が何を考えているのかを大人に理解してもらいたい。 | | | | | | | |
| 4.活動内容(6W2Hを具体的に記す) | | | | | | | |
| (1)何を(What) | | | | | | | |
| 住民参加のお祭り(屋台、子ども大人も遊べるアトラクション、フリーマーケット等) | | | | | | | |
| (2)誰が(Who) | | | | | | | |
| グループのメンバー+地域住民(希望者) | | | | | | | |
| (3)いつ(When) | | | | | | | |
| 8月後半の日曜日。夏休みを使って準備をし、前日の土曜日に会場準備をして、日曜日に実施する。 | | | | | | | |
| (4)どこで(Where) | | | | | | | |
| 〇〇児童館併設の児童遊園 | | | | | | | |
| (5)何のために(Why) | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が集える場づくり ・子どもたちの体験学習 ・児童館の遊具の寄付費用捻出 | | | | | | | |
| (6)誰と・誰に(Whom) | | | | | | | |
| 地域住民(誰でもok) | | | | | | | |
| (7)どのように(How) | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生が中心になって、企画・運営する。 ・児童館及び町内会に会場借用・広報等について協力依頼する。 ・地域住民(子どもから大人まで)のボランティアを募り、グループと協働でイベントを運営する。 ・町内会の回覧板及びポスター掲示(広報掲示板)により、協力者及びフリーマーケット参加者を募集する。 ・フリーマーケットの売上の50%及び屋台等の売上を児童館に寄付して、遊具購入費に充ててもらおう。 | | | | | | | |
| (8)いくらで(How much) | | | | | | | |
| 助成金(10万円)+会費(19,000円)+フリーマーケット参加費(3千円×10)+売上(3万円)=179,000円 | | | | | | | |
| 5.活動実績 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・1年前から地域の児童館で第2,4土曜日の午後に子どもと遊ぶ活動を続けている。 ・児童館の行事にボランティアとして協力している。 ・隔月で児童館併設の児童遊園を使って、子どもと遊ぶ集いを開催している。 | | | | | | | |

「みんなでフェスティバル」収支予算書

| | | 項 目 | 金 額 | 積 算 の 内 訳 |
|--------|--|-------------|----------|---|
| 収 入 | | 助成金 | ¥100,000 | 「子どもサポート」基金 |
| | | 会費 | ¥19,000 | 小学生(500円)×10人 中学生(1,000円)×8人 社会人(3,000円)×2人 |
| | | フリーマーケット参加費 | ¥30,000 | 出店者(3,000円)×10人 |
| | | 収益 | ¥30,000 | フリーマーケット、模擬店の売上 |
| | | 合 計 | ¥179,000 | |

| | | 項 目 | 金 額 | 積 算 の 内 訳 |
|--------|--|---------|----------|------------------|
| 支 出 | | 食材等仕入れ費 | ¥30,000 | 屋台の食材の仕入れ用 |
| | | 消耗品費 | ¥10,000 | ブルーシート、ガムテープ等 |
| | | 物品レンタル費 | ¥95,000 | テント、かき氷・たこ焼き器借用代 |
| | | 物品運搬費 | ¥20,000 | トラック等借用代 |
| | | ゴミ処理費 | ¥24,000 | 回収業者処理費用 |
| | | 合 計 | ¥179,000 | |

「みんなでフェスティバル」収支決算書

| | 項 目 | 金 額 | 積 算 の 内 訳 |
|--------------------|-------------|----------|---|
| 収 入 | 助成金 | ¥100,000 | 「子どもサポート」基金 |
| | 会費 | ¥19,000 | 小学生(500円)×10人 中学生(1,000円)×8人 社会人(3,000円)×2人 |
| | フリーマーケット参加費 | ¥30,000 | 出店者(3,000円)×10人 |
| | 収益 | ¥45,000 | フリーマーケット、模擬店の売上 |
| | 合 計 | ¥194,000 | |

| | 項 目 | 金 額 | 積 算 の 内 訳 |
|------------------------|---------|----------|------------------|
| 支 出 | 食材等仕入れ費 | ¥35,000 | 屋台の食材の仕入れ用 |
| | 消耗品費 | ¥9,500 | ブルーシート、ガムテープ等 |
| | 物品レンタル費 | ¥90,000 | テント、かき氷・たこ焼き器借用代 |
| | 物品運搬費 | ¥20,000 | トラック等借用代 |
| | ゴミ処理費 | ¥24,500 | 回収業者処理費用 |
| | 寄付 | ¥15,000 | 児童館へ |
| | 合 計 | ¥194,000 | |

資料集

ふりかえり用紙（小学校低学年用）の例

「活動タイトル」 年 月 日

すてきな思い出

| | | | | |
|------|-----|---|-----|--|
| 学年は？ | 小学校 | 年 | なまえ | |
|------|-----|---|-----|--|

なまえは書いても書かなくてもどちらでもいいです

きょう、いちばんたのしかったことをえにかいてみましょう

私の遊び絵日記

タイトル

なにをしているところかなあ？下に書いてみましょう。

| |
|--|
| |
|--|

ふりかえり用紙（小学校高学年以上用）の例

「活動タイトル」 _____ 年 月 日

参加者ふりかえり用紙

| | | | | | |
|------|-----|-----|---|-----|--|
| 学年は？ | 小学校 | 中学校 | 年 | なまえ | |
|------|-----|-----|---|-----|--|

なまえは書いても書かなくてもどちらでもいいです

1 今回体験したことで、それぞれあてはまる番号を○でかこんでください。

| 活動内容 | ①とてもよかった | ②よかった | ③あまりよくなかった | ④よくなかった |
|--------------|----------|-------|------------|---------|
| (1) どうしてですか？ | ① | ② | ③ | ④ |
| (2) どうしてですか？ | ① | ② | ③ | ④ |
| (3) どうしてですか？ | ① | ② | ③ | ④ |
| (4) どうしてですか？ | ① | ② | ③ | ④ |
| (5) どうしてですか？ | ① | ② | ③ | ④ |

2 感想(全体を通して何か、気がついたこと・感じたことを書いてください)

3 スタッフ(おにいさん・おねえさん)に一言、書いてください。

4 次回参加するとしたら、どんなことをやってみたいですか？

資料集

「活動タイトル」 _____ 年 _____ 月 _____ 日

_____ 評価用紙（保護者用）

| | |
|----------------|------|
| 学年は？ 小学校 中学校 年 | 児童氏名 |
|----------------|------|

氏名は書いても書かなくてもどちらでも結構です

1 今回の行事から帰ってきて、お子さんについて何かお気づきになった点がございますか？

2 今回の行事から帰ってきて、お子さんはどんな話をしていましたか？

3 次の行事に参加させようと思いますか？

はい いいえ

←○で囲みその理由を下にお書きください。

4 今後私たちが活動していく上で、どんなことを望みますか？

ふりかえり用紙 (スタッフ用)

| | | | | |
|--|----------------------------|--------|--------------|-------|
| 第 回 | 年 月 日 | 氏 名 | () 担当 | |
| 活動を終えて、以下の事項について活動をふりかえってみましょう。 ○で囲み、よかった点・こうすればよいという改善点があれば記入してください。 | | | | |
| 1 | 形態(日帰り、宿泊) | 適当 | 適当でない(改善点:) | |
| 2 | 内容に対する時間配分 | 適当 | 適当でない(改善点:) | |
| 3 | 時期 | 適当 | 適当でない(改善点:) | |
| 4 | 会場 | 適当 | 適当でない(改善点:) | |
| 5 | 定員 | 適当 | 適当でない(改善点:) | |
| 全体のテーマ | | | | |
| 6 | よかった | どんな点?: | | |
| | よくなかった | 改善点: | | |
| それぞれの活動について、ふりかえってみましょう。 ○で囲み、どんな点が書きましょう。 | | | | |
| 7 | (1) | よかった | よくなかった | どんな点が |
| | 担当者について、気がついた点を書きましょう | | | |
| | (2) | よかった | よくなかった | どんな点が |
| | 担当者について、気がついた点を書きましょう | | | |
| | (3) | よかった | よくなかった | どんな点が |
| | 担当者について、気がついた点を書きましょう | | | |
| | (4) | よかった | よくなかった | どんな点が |
| | 担当者について、気がついた点を書きましょう | | | |
| | (5) | よかった | よくなかった | どんな点が |
| | 担当者について、気がついた点を書きましょう | | | |
| 8 | その他、次回の活動に生かせることを記入してください。 | | | |
| | () | | | |

以下に、主に野外活動において必要な文書類を掲載しました。

下見チェックリスト（例）

| チェック項目 | 十分 | 改善 | 要検討 | 備考 |
|----------------------|----|----|-----|----|
| 危険な場所等 | | | | |
| 危険な動植物はいないか | | | | |
| 荒天時に危険な場所はないか | | | | |
| 崖崩れや落石の危険はないか | | | | |
| 折れて倒れそうな木や竹はないか | | | | |
| 竹の切り株やとがった木や枝がないか | | | | |
| 行為の安全性 | | | | |
| 火を安全に使用できるか | | | | |
| 参加者が安全に集合できるスペースがあるか | | | | |
| 荒天時の避難場所はあるか | | | | |
| トイレは確保できるか | | | | |
| 飲料水は確保できるか | | | | |
| 退路は確保できるか | | | | |
| 外部との連絡 | | | | |
| 緊急時の連絡体制はあるか | | | | |
| 当日診療している医療機関はあるか | | | | |
| 地主や役所から使用許可を得られるか | | | | |
| 火は使用可能か | | | | |
| 駐車場は確保できるか | | | | |

事故発生時の対応マニュアル（例）

事故発生

現場のスタッフがすべきこと

現場スタッフ・事故に居合わせたスタッフ

応急措置

- ・**応急手当**
- a 周囲の状況の観察
- b 傷病者の観察
- c 具体的な手当
- d 経過の記録・メモ
- ・**必要な物**
- 救急用品
(ファーストエイドキット)
- 搬送用具(担架・毛布等)
- ・**あると良い物**
- 救急法の資格等

本部へ連絡

- ・**事故についての報告**
- a 対応者(現場のスタッフ)は誰か
- b 事故者は誰か
- c 場所はどこか
- d 時刻
- e 何があったか
- f 「〇〇〇」をして欲しい
- 例
- ・救護係を要請
- ・支援の要請
- ・搬送・輸送の支援
- ・アドバイス等

緊急要請

- ・**必要ならば**
- 救急(119番)
- ・**交通事故**
- 救急(119番)
- 警察(110番)
- ・**緊急でない場合**
- 本部スタッフ等で医療機関に搬送し、プログラム進行に影響を与えないようにする。

本部・事務局スタッフがすべきこと

本部スタッフ・事務局スタッフ

現場へ行く人

- ・**現場への支援**
- a 人的支援(人)
- b 物的支援(物)
- c 知的支援(アドバイス)
- ・**準備が必要**
- 救護係、救急用品、搬送用具、緊急対応できる人員

本部に残る人

事故者以外への対応

- ・**関係機関**
- a 搬送先へ(病院・医療機関)
- b 警察・消防等へ
- c 保険関連
- ・**家庭や保護者**
- a 事故についての報告
- b 搬送先等の報告
- c 処置、治療の報告
- d 保険、医療費について
- ・**プログラム、イベントについて**
- プログラム、イベントについて変更や続行、中止について判断する。

記録・報告

- ・**報告書**
- 現場の記録等を参考に事故の報告書を作る。
- 再発の防止に努める。

健康調査票（例）

記入日 年 月 日

| | | | | | | | | |
|------------------|----|----|----|-----|-----|--------|----------|-----|
| （ふりがな） | | | | | | | | |
| 参加者氏名 | | | | | | | | |
| 住所 | | | | | | | | |
| 電話番号 | | | | | | | | |
| 緊急連絡先 | | | | | | | | |
| ふりがな | | | | | | | | |
| 保護者氏名 | | | | | | | | |
| 住所 | | | | | | | | |
| 身長 | cm | 体重 | kg | 血液型 | 型Rh | 平温体温 度 | 乗り物酔いの有無 | 有・無 |
| 持病・既往症など | | | | | | | | |
| 最近一年間にかかった主な病気 | | | | | | | | |
| 薬・食物などの副作用・アレルギー | | | | | | | | |
| 健康・生活面で注意すべきこと | | | | | | | | |

※この健康調査票は、〇〇〇ボランティア活動の参加者が、無事活動を終えることができるよう本人およびスタッフが留意すべき点を調査するものです。他の目的には一切使用しません。

（団体名等を記入）

資料集

事故報告書（例）

| | |
|----------------|---|
| いつ | 2006年 8月 20日 15時 35分 |
| 誰が(事故者) | 氏名 銚子 もの太郎 年齢 10 歳 性別 男 |
| どこで | テント場 |
| 何をして | 鬼ごっこ |
| どのように | テント場周辺で鬼ごっこ中にテントのロープに足をかけて、前方に倒れた。 |
| どうなったか | 倒れた際に右腕を地面につき、肘を脱臼した。 |
| 誰が(対応者) | 氏名 古戸母 佐歩太 年齢 13 歳 性別 男 |
| どのような対応をしたか | 一緒に鬼ごっこをしていた参加者から、連絡があり駆けつけると、地面に仰向けになって肘を押さえていた。事故の状況を本人と一緒に遊んでいた参加者に聞いた。その話から骨折または脱臼と判断して、右肘(患部)を固定し、大人のスタッフの車で病院に連れて行った。脱臼と診断されたので、キャンプ続行は不可能と判断し、保護者に連絡し迎えに来てもらい、家に帰した。 |
| どこの医療機関へ | 日曜日であったので、一番近い救急病院へ運んだ。 |
| どんな処置をしたか | 事故現場では、三角巾を使用し右肘を固定して、車に乗せた。 |
| どんな結果であったか | 病院で脱臼とわかり、適切な処置をもらった。 |
| その他 | 大人のスタッフがいたので、助かった。 |
| 事故はなぜ起きたのか | ペグやロープがテントの周りにあり、走ったりすると危険であることを注意していた。しかし自由(休憩)時間で気がゆるんだのか、自然発生的に鬼ごっこを始めてしまった。 |
| 再発防止にはどうしたらよいか | 参加者全員を集め、テント場周辺での行動について、細心の注意を払うように徹底する。またテントの点検をさせることで、危険であるという認識を喚起する。 |
| 対応策は | 今回は事故後の対応が適切であったので、大事故には至らなかった。今後も危険予知、安全管理を徹底し、事故後の対応マニュアルを作成し適切な対応ができるようにする。 |

子どもサポーターに役立つ研修情報

| 分類 | 主催団体等 | 研修等の内容または名称等 | 所在地 | 電話番号 |
|-------------------|--|---|---------------------------------|------------------------------------|
| | 開催地・施設名称等 | | | F A X |
| 国の機関・全国組織等 | (独) 国立青少年教育振興機構 | | | 03-3467-7201 |
| | 国立オリンピック記念 青少年総合センター 国立青少年交流の家/ 国立青少年自然の家 | ボランティア養成研修 ユースリーダー塾ほか | 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 | 掲載なし |
| | (社) 青少年交友協会 | 自然体験学習指導者養成講座ほか | 東京都豊島区池袋3-30-8 みらい館大明305 | 03-5391-1901 03-5391-1902 |
| | (社) 全国子ども会連合会 | 危険予知トレーニング(KYT)講習会 子ども会実技指導者養成講習会ほか | 東京都文京区大塚6-1-14 全国子ども会ビル | 03-5319-1741(株) 03-5319-1744 |
| | (財) 児童育成協会 | ボランティア講習会 | 東京都渋谷区神宮前5-53-1 | 03-3797-5666 |
| | 子どもの城 | | | 03-3797-5676 |
| 神奈川県内の関連機関等 | 各市区町村の青少年担当課 | ジュニアリーダー研修 シニアリーダー研修 | P.101参照 | |
| | 神奈川県立青少年センター青少年支援部 | 子どもに関わる若者 ボランティアセミナー | 横浜市西区紅葉ヶ丘9-1 | 045-263-4466 |
| | 同上 | 子どもを支援する若者セミナーほか | | 045-242-8190 |
| | 神奈川県立青少年センター科学部 | 青少年科学体験指導者セミナー ロボット工作・競技会 指導者セミナー | 同上 | 045-263-4470 045-263-4471 |
| | 同上 | | | 045-241-7088 |
| | 神奈川県立清川青少年の家 | キャンプ指導者研修、 人間関係づくりセミナーほか | 愛甲郡清川村煤ヶ谷2274 | 046-288-2319 046-288-2117 |
| | 同上 | | | |
| | (社) 神奈川県青少年協会 | ボランティア受け入れ事業ほか | 横浜市港北区緑原台町6-16 | 045-402-0346 045-402-0362 |
| | 県内各地 | | | |
| | (財) 神奈川県ふれあい教育振興協会 | ふれあい指導者研修会 | 横浜市神奈川区神之木台22-14 | 045-430-3790 045-430-3791 |
| | 県立足柄・愛川ふれあいの村 | | | |
| | (財) 横浜市スポーツ振興事業団 | 野外活動指導者養成講座 | 横浜市中区尾上町6-81 ニッセイ横浜尾上町ビル内 | 045-640-0011(株) 045-640-0021(株) |
| | 市内各地 | | | |
| | (財) 横浜市青少年育成協会 | ボランティア入門講座 スキルアップ講習会 | 横浜市中区吉吉町4-42-1 横浜市青少年育成センター内 | 045-662-3716 045-664-6254 |
| | 横浜市野島青少年研修センターほか | | | |
| (社) 横浜市レクリエーション協会 | スポーツ・レクリエーション 人材養成講座 | 横浜市中区尾上町6-81 ニッセイ横浜尾上町ビル2F | 045-671-5050 045-671-5041 | |
| 市内各地 | | | | |
| (財) 藤沢市青少年協会 | リーダー研修(小学生5,6年、中学生、高校生、リーダーズスクール) | 藤沢市朝日町10-8 藤沢青少年会館内 | 0466-25-5215 0466-28-9567 | |
| 市内の青少年会館、少年の森など | | | | |
| (財) 横浜YMCA | キャンプ指導者養成研修ほか | 三浦市初声町和田3136 | 046-888-2100 046-888-2152 | |
| 県立三浦ふれあいの村 | | | | |
| (財) 日本レクリエーション協会 | レクリエーションインストラクター 養成講習会等 | 東京都千代田区三崎町2-20-7 水道橋西口会館6階 | 03-3265-1241 03-3265-1245 | |
| 県支部ごとに開催 | | | | |
| (社) 日本キャンプ協会 | キャンフィンストラクター講習会等 | 東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内 | 03-3469-0217 03-3469-0504 | |
| 県支部ごとに開催 | | | | |
| (社) 日本ネイチャーゲーム協会 | ネイチャーゲームリーダー養成講座 | 東京都新宿区新宿1-20-13 花園公園ビル1F | 03-5363-6010 03-5363-6013 | |
| 県支部ごとに開催 | | | | |

| 分類 | 主催団体等 | 研修等の内容または名称等 | 所在地 | 電話番号 |
|----------------------|--|--|--------------------------------------|------------------------------|
| | 開催地・施設名称等 | | | F A X |
| 実施している研修を専門的に行っている団体 | (株) プロジェクトアドベンチャージャパン 神奈川、山梨ほか各地で開催 | プロジェクトアドベンチャー ジャパン各種ワークショップ | 東京都渋谷区渋谷1-7-5 青山セブンビル6F | 03-3406-8804 03-5467-7018 |
| | (財) 公園緑地管理財団 全国各地で開催 | プロジェクトワイルド エド育ーター養成講習会 | 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39Mビル11階 | 03-3431-4865 03-3436-4587 |
| | (財) 河川環境管理財団 全国各地で開催 | プロジェクトウェット エド育ーター講習会 | 東京都中央区日本橋小伝馬町11-9 住友生命日本橋小伝馬町ビル2F | 掲載なし 03-5847-8309 |
| | ジャハンGEMSセンター 全国各地で開催 | GEMSリーダー養成 ワークショップなど | 東京都新宿区新宿5-10-15 ツインズ新宿ビル4F | 03-3350-6770 03-3350-7818 |
| | (財) 日本アウトワードバウンド協会 日本アウトワード・バウンド協会長野校ほか | リスクマネジメント講習会 野外(自然)体験教育指導者 養成コースなど | 東京都新宿区白銀町2-12 シルヴァーヒル301 | 03-3235-5757 03-3267-6023 |
| | NPO法人自然体験活動推進協議会(CONE) 全国各地で開催 | CONE(ノン)リーダー養成講座 | 東京都新宿区新宿5-7-8-6F | 03-5363-2501 03-5363-2502 |
| | (財) キープ協会 山梨県 | 自然体験、環境保全など に関する研修 | 山梨県北杜市高根町清里3545 | 0551-48-2114 0551-48-3575 |
| | NPO法人川に学ぶ体験活動協議会 (RAC) 全国各地で開催 | 川の初級指導者養成講座 (RACリーダー) | 東京都中央区新川2-10-6 カヤマビル703号 | 03-5542-7577 03-5542-7578 |
| | 自然体験.COM(自然体験ドットコム) | 全国各地の自然体験イベント情報 | インターネットの検索サイトから検索可能です。 | |
| | 自然体験イベント情報 | イベント・講習会・交流会などの情報 | | |
| | 環境省 | 子ども向けイベント情報など | 東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎5号館 | 03-3581-3351代 |

※開催日程や詳しい内容については、主催団体に直接問い合わせてください。

※高額な参加費を必要とする研修や、受講後に資格登録などが必要なものもありますので、各団体のホームページ等で確認してください。

※高校生以上、18才以上など参加資格に制限がある研修もあります。



子どもサポーターに役立つ書籍

| 分野 | 書籍名 | 著者・編者 | 出版社・発売元 |
|-----------------------------|--|---|-----------------------|
| ゲーム・ソング等 | みんなのPA系ゲーム243 | 緒澄 敬之 | 杏林書院 |
| | みんなで楽しい！ レクリエーションゲーム | (財)日本レクリエーション協会 | 西東社 |
| | 楽しい！もりあがる！ レクリエーション・ゲーム集107 | (財)日本レクリエーション協会 | ナツメ社 |
| | レクリエーションゲーム集 | (財)日本レクリエーション協会 | 高橋書店 |
| | みんなの レクリエーションゲーム | (財)日本レクリエーション協会 | 池田書店 |
| | たのしい！ レクリエーションゲーム集 | (財)日本レクリエーション協会 | 西東社 |
| | 懐かしい歌・思い出の歌 | 全国福祉 レクリエーション・ネットワーク | 成美堂出版 |
| | 野外ゲームの達人 | 京都市教育委員会花背山の 家、京都市小学校・中学校野 外教育研究会 | 北大路書房 |
| 楽しい野外ゲーム75 | 今井 弘雄 | 黎明書房 | |
| 野外活動 | ゼロから始めるウォークラリー (増40号) | (財)日本レクリエーション協会 | (財)日本レクリエーション協会 |
| | ウォークラリーの手引き | (財)神奈川県ふれあい 教育振興協会 | (財)神奈川県ふれあい 教育振興協会 |
| | キャンプファイヤーの手引き | (財)神奈川県ふれあい 教育振興協会 | (財)神奈川県ふれあい 教育振興協会 |
| | はじめての野外料理 | | 地球丸 |
| | はじめてのダッチオープン料理 | | 地球丸 |
| | 野外料理のレシピ集235 | | 地球丸 |
| | 野外料理入門 | みなくち なほこ | 山と溪谷社 |
| | 野外料理超簡単レシピ555 | 鈴木 アキラ | 山と溪谷社 |
| | キャンプ&野外生活 ワンダーランド | 神谷 明宏・柴田 俊明 | いかだ社 |
| | 自然とあそぼう 3 あそんでたのしむ野外活動入門 | 山岡 寛人 | ポプラ社 |
| 自然とあそぼう 1 つくってたのしむ野外活動入門 | 山岡 寛人 | ポプラ社 | |
| アウトドア・ローテクニック | 羽根田 治 | 山と溪谷社 | |
| 安全管理等 | 野外のエマージェンシー・ブック | 大蔵 喜福 | 地球丸 |
| | ニュー・アウトドア 救急ハンドブック | 小浜 啓次 | 小学館 |
| | とっさのときの救急法 | 平田 忠 | ブックマン社 |
| | 救急法のすべて 理論と実技 | 小森 栄一 | 技術書院 |
| | すぐに役立つ救急法 増補 | 手嶋 昇・野口 盛雄 | 不昧堂出版 |
| | こうしてすすめよう！ 子ども会KYT | (社)全国子ども会連合会 | (社)全国子ども会連合会 |
| | みつけたキケンくん | (社)全国子ども会連合会 | (社)全国子ども会連合会 |
| | 冒険と安全のための チェックポイント | (社)全国子ども会連合会 | (社)全国子ども会連合会 |
| その他 | 子ども会 Step Up for Junior Leader's | (社)全国子ども会連合会 | (社)全国子ども会連合会 |
| | 子ども会 Step Up for 集団指導者 | (社)全国子ども会連合会 | (社)全国子ども会連合会 |
| | プロジェクトアドベンチャー入門 グループの力を生かす | プロジェクトアドベンチャー ジャパン | CSL学習評価研究所 |
| | 新・グループワークトレーニング | | 遊戯社 |
| | 協力すれば何かが変わる 一統・学校グループワーク ・トレーニング | 横浜市学校GWT研究会 | 遊戯社 |
| 体験学習の手引き | 神奈川県立青年の家 | 神奈川県立青年の家 | |

直接協会または
ふれあいの村へ

ホームページより購入可

非売品
青少年センター
で閲覧可

青少年担当課一覧表

| 地域 | 課名 | 電話番号 | 地域 | 課名 | 電話番号 | |
|-------------|-------------------|---------------|---|---------------------------|-------------------|--------------|
| 横浜市 | 横浜市子ども青少年局青少年育成課 | 045-671-2353 | 中央地域 | 厚木市民協働部青少年課 | 046-225-2580 | |
| | 横浜市鶴見区地域振興課 | 045-510-1692 | | 大和市教育委員会生涯学習部青少年センター | 046-260-5224 | |
| | 横浜市神奈川区地域振興課 | 045-411-7092 | | 海老名市教育委員会生涯学習部青少年課 | 046-231-9787 | |
| | 横浜市西区地域振興課 | 045-320-8390 | | 座間市教育委員会生涯学習部青少年課 | 046-253-8415 | |
| | 横浜市中区地域振興課 | 045-224-8136 | | 綾瀬市教育委員会生涯学習部青少年課 | 0467-70-5655 | |
| | 横浜市南区地域振興課 | 045-743-8197 | | 愛川町教育委員会生涯学習課 | 046-285-2111代 | |
| | 横浜市港南区地域振興課 | 045-847-8393 | | 清川村教育委員会事務局 | 046-288-1215 | |
| | 横浜市保土ヶ谷区地域振興課 | 045-334-6307 | | 湘南地域 | 平塚市市民部青少年課 | 0463-32-7029 |
| | 横浜市旭区地域振興課 | 045-954-6095 | 麻沢市教育委員会生涯学習部青少年課 | | 0466-50-3562 | |
| | 横浜市磯子区地域振興課 | 045-750-2393 | 茅ヶ崎市教育委員会生涯学習部青少年課 | | 0467-82-1111代 | |
| | 横浜市金沢区地域振興課 | 045-788-7804 | 秦野市教育委員会生涯学習部青少年課 | | 0463-81-7011 | |
| | 横浜市港北区地域振興課 | 045-540-2239 | 伊勢原市教育委員会青少年課 | | 0463-94-7171 | |
| | 横浜市緑区地域振興課 | 045-930-2236 | 寒川町教育委員会生涯学習課 | | 0467-74-1111代 | |
| | 横浜市青葉区地域振興課 | 045-978-2295 | 大磯町教育委員会生涯学習課 | | 0463-61-4100 | |
| | 横浜市都筑区地域振興課 | 045-948-2234 | 二宮町教育委員会生涯学習課 | | 0463-72-6912 | |
| | 横浜市戸塚区地域振興課 | 045-866-8412 | 足柄上地域 | | 南足柄市教育委員会教育部生涯学習課 | 0465-73-8036 |
| | 横浜市栄区地域振興課 | 045-894-8395 | | | 中井町教育委員会生涯学習課 | 0465-81-3907 |
| | 横浜市泉区地域振興課 | 045-800-2391 | | 大井町教育委員会生涯学習課 | 0465-85-5016 | |
| 横浜市瀬谷区地域振興課 | 045-367-5695 | 松田町教育委員会生涯学習課 | | 0465-83-7023 | | |
| 川崎市 | 川崎市市民局地域生活部青少年育成課 | 044-200-2668 | | 山北町教育委員会教育部生涯学習課 | 0465-75-3649 | |
| | 川崎区地域振興課 | 044-201-3133 | 開成町教育委員会教育部生涯学習課 | 0465-82-5221 | | |
| | 幸区地域振興課 | 044-556-6609 | 西湘地域 | 小田原市教育委員会生涯学習部青少年課 | 0465-33-1723 | |
| | 中原区地域振興課 | 044-744-3159 | | 箱根町教育委員会生涯学習課 | 0460-5-7601 | |
| | 高津区地域振興課 | 044-861-3146 | | 真鶴町教育委員会生涯学習課 | 0465-68-1131代 | |
| | 宮前区地域振興課 | 044-856-3135 | | 湯河原町教育委員会社会教育課 | 0465-63-211代 | |
| | 多摩区地域振興課 | 044-935-3133 | 地 域 北 | 相模原市教育委員会生涯学習部青少年課 (※) | 042-751-0212 | |
| | 麻生区地域振興課 | 044-965-5113 | | | | |
| 三浦地域 | 横須賀市子ども育成部青少年課 | 046-822-8224 | 平成19年3月31日現在 | | | |
| | 鎌倉市教育委員会生涯学習部青少年課 | 0467-44-0487 | ※平成19年4月2日付で、相模原市の組織改正により、以下の通り変更となります。 | | | |
| | 逗子市教育委員会教育部生涯学習課 | 046-872-8153 | | | | |
| | 三浦市教育委員会社会教育課 | 046-882-2765 | 相模原市健康福祉局子ども育成部青少年課 042-769-8289 | | | |
| | 葉山町教育委員会生涯学習課 | 046-876-1111代 | | | | |

資料集

